

全 国 水 土 里 ネット 会 長 賞

1. 事業概要

参加団体名：吉原土地改良区（石川県）

表彰地区名：城山地区

事業名等：経営体育成基盤整備事業（旧ほ場整備事業担い手育成型 H14～H18）

主要工事：区画整理、客土

2. 推薦理由

本地区は、1級河川手取川沿いの河岸段丘地帯に広がる水田地域である。

現況は4a区画と小さい等、生産基盤条件が悪いことに加え、地区の過疎化・高齢化により、今後、現在の営農体系を維持が難しいという懸念もあった。このため、本事業で1haの大区画化等の生産基盤条件の整備を行い、本事業を契機に集落営農による営農体制を整えることにより、大規模営農体系を確立し、生産コストの大幅な減少を図ることができた。

また、地域の特産物化を推進しているソバについても、作付面積を大幅に拡大でき、地域振興に寄与している。

更に、本地区は2集落から成っているが、昭和20年代後半の一時整理時に、集落境界線が複雑に入り組んだ状態で設定していたことから、この境界問題の解決が永年の懸案となっていた。本事業実施に当たり、地元住民自らが集落間の境界の問題解決に正面から向き合い、事業着手の数年前から話し合いにより解決策を見いだされたことは、非常に意義深い物である。

3. 受益地区における農家及び担い手の状況

(1) 受益地区における農家数の状況

区 分	事業実施前	現 在
総農家数	90戸（0戸）	7戸（4戸）
うち専業農家数	5戸（0戸）	4戸（4戸）
うち兼業農家数	85戸（0戸）	3戸（0戸）
認定農業者	0人	0人
生産組織等（法人含む）	0組織	2組織

※（ ）内の戸数は、担い手農家数

(2) 農用地の流動化状況

項 目	事業実施前	現 在	目 標
受益面積	33.2ha	31.5ha	
担い手等の利用集積面積	0ha	27.2ha	26.8ha
①利用権設定面積	0ha	22.9ha	ha
②受託面積	0ha	0ha	26.8ha

4. 農業経営状況

区分 作物名	事業実施前（10aあたり）			現 在（10aあたり）		
	労働時間	反 収	生 産 費	労働時間	反 収	生 産 費
水稲	49.1hr	482kg	208千円	11.8hr	500kg	85千円

区分 作物名	作 付 面 積 の 推 移		
	事業実施前	現 在	目 標
ソバ	5.8 ha (0 ha)	18.5 ha (18.5 ha)	6.4 ha (6.4 ha)
大豆	1.2 ha (0 ha)	ha (ha)	3.9 ha (3.9 ha)
計	28.8 ha (0 ha)	31.5 ha (27.2 ha)	31.5 ha (26.8 ha)
土地利用率	88.9 %	100 %	100 %

※ (ha) は、担い手農家等の作付面積

5. 営農推進状況

(1) 栽培技術関係

事業実施を契機に集落営農組織毎に大型機械を導入し、労働時間の大幅短縮を図っている。

- ・事業実施による労働時間：76%短縮（担い手農家聞き取り調査結果による）

(2) 転作関係の状況

①整備後の転作の状況（現況）

- ・転作面積 18.5 ha（事業実施前の転作面積 5.8 ha）

②転作作物名と作付面積

- ・作物名： ソバ （18.5 ha）

転作や新規作物の導入にあたって、特にPRすること

地域特産物であるソバについて、事業により経営規模拡大を計画していたところ、事業を契機に設立した生産組織により、大型機械の導入がされたことに加え、白山市の助成等、経営環境が整ったことから、大規模栽培が行われた結果、目標を大きく上回る転作が実現された。

6. 環境に配慮した取り組み

当該地域に多く生息するホタルに配慮し、現場における工事で発生した玉石を再利用した「ホタル水路」（L=285m）を造成した。

7. 行政や関係者が「事業計画、施工、利活用など」において苦労した点

レキ質土壌のため用水確保が困難であること、未整理（4a区画）及び地形勾配大（平均1/90）等の生産基盤条件が厳しい中で、生産組織による大規模経営に合わせ1haの大区画ほ場を造成した。

過疎の進行（高齢化率20%以上）による担い手確保が難しい中、事業実施を契機に集落営農組織を設立し、大規模経営による営農体制が整うよう関係地権者との調整に努力した。

8. 周辺地域への波及効果及び将来の展望

ソバの大規模経営により、地域特産物の安定供給が図られることから、産業への波及効果が期待される。



事業実施前（790筆）



事業実施後（40筆）



大型機械による営農



大区画ほ場



ホタル水路



ホタル水路の看板